

## THUJA OCCIDENTALIS／サンカラシ

強力な Sycotic レメディである。メインとなる徴候のひとつは壊れやすいという感覚、脆い感覚である—自分の中になにか弱いものがあるというフィーリング。私の知見では、これは自分になにか悪いものがあり、自分は弱いという Sycotic なフィーリングである。これはまた Medorrhinum にもみられる。

私は、Thuj.のこの脆いという感覚が身体面にも表れるのを目にしている。患者は、どのような食べ物も飲み物も確実に自分の問題の原因となっており、自分の身体はそういったドラッグやアレルゲンや感情的ストレスや場合によっては隙間風すらも受け付けないと感じている。そして、こういった全ての要因を避けようとし、それに身をさらすまいと何かで自分を覆い隠そうとする。しかし、これらは恐怖を補強するだけであり、この悪性のサイクルが続くことで、重篤な強迫神経症の性質とか固定観念と固定化した行動パターンのみられる神経症に対して Thuja がメインレメディとなるのである。

私は、しばしばフォローアップ中の患者が、たった一粒(プラシーボ)ですら非常な悪化を引き起こすのでそれを完全に止めなければならないと述べるのを目にしている。一方で、一定量をとらないと全ての症状がぶり返してくるので、しばしばメチャクチャな量を飲み続けたいと固執する患者もいるのである。

感情面では、この脆いというフィーリングは社会の中で面目を失うことに対する恐怖として表れる。自分は、社会的に信心深くて道徳的に正しくて清廉潔白で正直な人間であるという特定のイメージを持っていて、不正直とか性的誘惑とか(特に)禁じられていることとは無縁であると思いこんでいる。

こうして彼は自分を高尚な人間であるように装う。そして、ちょっとした間違いで自分が必死で隠そうとしてきた自分の悪しき部分リアルな自分がさらけ出してしまうことを恐れる。この悪しき部分というのは、不正直さ、性欲(自分に近い近親者に対してすら生じるかもしれない)、不道徳で不信心なフィーリングである。

これが見つかってしまうとそれまでの想像上の崇高な地位から転落し全てが終わってしまうだろう。こうして全てを完全に覆い隠すことが彼の生存法となり、それが暴露されることに対してとてつもない不安を感じる。

言い換えると、Thuja の人は秘密主義であり、医者に対してまるで秘密を共有するような話し方をする。Thuja は他人とくに見しらぬ人がいることを気にする。ルブリクスに、空気中に浮かんでいるように感じる(“Delusion, body lighter than air: 身体が空気より軽いという妄想”)とか高いところから落ちる夢をみるというのがあるが、これは高めれた地位から落っこちてしまうことへの恐れを示している。

こういうことから、Thuja の状態が生じるのは、社会的に宗教的階級の立場にある人やなにかを考えると非常に硬直した状態・固定観念を要求される立場の人であるように思われる。中東

のような神権政治の人々はこのレメディを必要とするだろう。また、罪悪というものに対して硬直した考えを持つ厳格な宗教的指導者はしばしば食器棚に骸骨を飾っていたりして、何度も Thuja を必要とする。実際、“Religious fanaticism: 宗教への狂信”はルブリクスのひとつである。

身体的には、固定化したものの表れである硬直がみられる；覆った部分にできる皮疹（まるで見られたくないかのように）、高いところから落ちるかのような Jerk が睡眠でみられる。また私が診た中では、爪の皺、指の中節骨の部分や他の通常生えない部分（例えば耳翼）に生える毛、ひどく臭う汗（特に性器のあたり）、肉厚で有茎性の疣贅、黒子がみられた。腋窩部に汗をかき、黄色い染みを残したり塩気のある沈着物を生じ、脂っぽいこともある。寒がりでも熱いお風呂を好む。

Thuja の女性は妊娠を非常に恐れ、しばしば罪の感覚と関連して妊娠の感覚が生じる。こういった女性はまた嫉妬深い場合があり、夫が不実であるという固定観念を抱いている。私が見た中では、多くの Thuja の人はしばしば緑色を好む傾向がある。

### ルブリクス

- Delusion, body is delicate: 身体が繊細であるという妄想。
- Delusion, body is thin: 痩せているという妄想。
- Delusion, body is brittle: 身体が脆いという妄想。
- Delusion, that she is made of glass: 自分がガラスでできてるという妄想。
- Insanity, will not be touched: 狂的に触られたがらない。
- Fear, of others approaching him: 誰かが近づくことを恐れる。
- Fear, physician will not see him, he seems to terrify her:
- Fear of strangers: 見知らぬ人を恐れる。
- Fanaticism: 狂信的行為。
- Delusion, body is lighter than air: 身体が空気よりも軽いという妄想。
- Dreams, falling, height, from: 高いところから落ちる夢。
- Monomania: ひとつのことへのとらわれ。偏執狂。

### Kent

- Vertigo, walking, sensation of gliding in air, as if feet did not touch the ground, while: 歩いていると目眩。まるで地面に足がついていないかのように空気中を滑空する感覚。
- Back, injuries of spine: 背骨の外傷。
- Face, greasy: 脂っこい顔。
- Warts, on the face: 顔の疣贅。
- Warts, on the external throat/cervical region: 喉の外側／首の部分の疣贅。
- Corrugated nails: 変形した皺の寄った爪。
- Pain, rectum, while sitting: 座ると直腸に痛み。
- Urethra, urine remained in, after urinating, as if some: 排尿後も尿が膀胱に残っているような感じがある。
- Perspiration, genitalia, sweetish odour: 女性器の汗。甘い匂い。
- Axilla, perspiration, frothy deposits(K): 腋窩の汗。泡状の沈着物。
- Axilla, boils: 腋窩の腫れ物。

一Back pain, standing erect almost impossible after sitting:背中の痛み。座った後はほとんどまっすぐに立つことができない。

一Skin, warts, pedunculated:茎のある皮膚の疣贅。

#### Phatak

一Aversion, to approach:近づかれることを嫌う。

一Brittle, broken feeling:脆い。壊れた感じ。

一Fanaticism:狂信的。

一Hair all over the body:身体中の体毛。

一Strangers, presense of, aggaravates:見知らぬ人がいると悪化。